

「アンテナ立て教材豊かに」 新聞活用法 教員向けに研修



授業での新聞の活用例などについて話す鹿野川氏

さいたま市教育委員会は10月24日、授業で新聞を活用してもらおうと、市内の小中学校などの教員向けに研修会を開いた。研修会では、読売新聞東京本社のNIE企画デザイナー鹿野川喜代美氏が、新聞活用の効果や活用方法について説明した。

教員約150人が参加。公立中学校で35年、国語教諭を務めた経験もある鹿野川氏は、授業の教材として新聞を使うことで、子供たちが社会に関心を持てるほか、命を尊重するなど道徳理念を学べると話した。

またニュース記事だけでなく、写真や広告、人生相談、テレビ欄を使った授業例も紹介。鹿野川氏は「先生がアンテナを立てていると教材が豊かになる。子供にその面白さを伝えられたら学力向上にもつながる」と話していた。